

# タグチ通信

vol.25 summer issue 2024



タグチグループ公式 YouTubeチャンネル好評です! チャンネル登録お待ちしております!  
2024年8月30日発行 TAGUCHI 経営企画室 © TAGUCHI INDUSTRIAL CO., LTD

re-create the world  
**TAGUCHI**

## ペーソスの箱

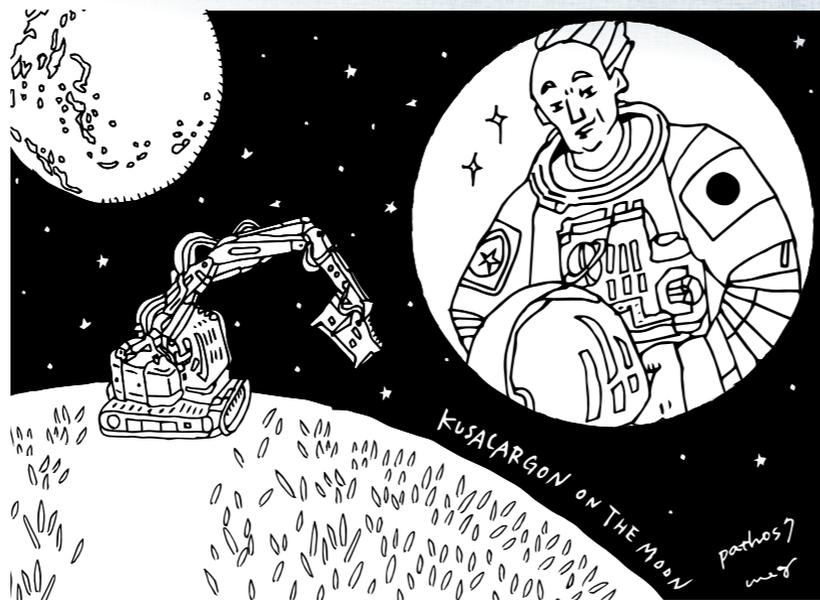
Taguchi's Story no.7

まさか宇宙プロジェクトにタグチが参加するなんて誰も思っていなかった。突拍子もないことを言い出すのが常の田口裕一会長でさえ、あのJAXA(宇宙航空研究開発機構)と5年にもわたって共同研究を進めることになろうとは夢にも思わなかった。

はじめはロボティクス・ファッションクリエイターのきゅんくんを起用した動画『重機少女シリーズ』だった。企画した某広告代理店と打ち合わせを重ねていたときのこと。同社クリエイティブディレクターのT氏が当時の田口裕一社長に「実はやってみたいことがあるんです」と打ち明けた。それがJAXAの「宇宙探査イノベーションハブ」だった。企業や大学などを積極的に引き入れ、JAXA全体に技術的進歩をもたらさんとする公募プロジェクトである。通称は「TansaX(タンサクス)」。

T氏に背中を押され応募してみることにした。研究テーマには「超軽量建機アタッチメントおよびブーム等の開発および実地検証」を選択。宇宙に運ぶ物資1kgにつき1億円の経費がかかることとされている。もしも10kgの計量に成功すると、10億円のコストダウンが見込めるということ。JAXAのメリットは言うに及ばず。タグチにも軽量化のノウハウをアタッチメントに活かすことができればメリットは大きい。まさにこの部分、共同研究にあたる双方にメリットをもたらすことが「TansaX」の真に理想とする目的なのだった。

あれよあれよという間に話は進んで、図らずも宇宙プロジェクトへの参加が決定。以



### 5年にわたるJAXAとの共同研究。 有人と圧ローバがダメでも タグチの宇宙への夢はつづく

後、5年の間で二段階の研究が行われた。まずは油圧ショベルのアームの軽量化。超超ジュラルミンとCFRPのふたつの素材で研究開発が行われ、結果、東レの全面協力を得て完成したCFRPが大きな成果を得た。第二段階はショベル全体の軽量化。こちらはショベルの本体と足まわりの部品をCFRPで製作することで、全体で210kgもの軽量に成功することができた。

こうしてまたたく間に5年の月日が流れ、く「TansaX」の研究は終了した。田口会長には達成感とともに、研究が終わってしまったことに一抹の寂しさもあった。(引き続きなんらかのカタチで宇宙プロジェクトに関わることができたら……)

そんな思いを抱いていた会長の目が、今年の春、ある新聞記事に釘付けになった。そこには、かねてからアメリカが進めている月面探査プログラム「アルテミス計画」において、日本が有人と圧ローバの提供の役割を担うことになったとあった。

(これだ! 与圧ローバの部品にこれまでの軽量化のノウハウが活かせるはず!)

田口会長はJAXAに連絡を入れ、協力を申し出た。早速、与圧ローバの開発を請け負った国内企業に打診してもらったところ、「協力は無用です」、返答は誠にそっけないものだったという。

憤懣<sup>はんまん</sup>やるかたない田口会長。この悔しさをクサカルゴンのPR動画第二弾『クサカルゴン・ザ・ムービー2』で表現しようとしているらしい。構成はざっとこんな感じだ。雑草でびっしり覆われた月に油圧ショベルを載せた宇宙船が降り立ち、遠隔操作のクサカルゴンが雑草を刈りまくる。

今号の特集でも紹介しているG-WORKSのスタジオとバーチャルプロダクションをフルに使って、映像のクオリティであつと言わせるつもりだ。タグチの宇宙プロジェクトは終わらない。会長の目の黒いうちはまだまだ続きそうな気配である。

LOCATION WEATHER TIME NO FACTORS

# SITE V

VIRTUAL PRODUCTION

## G-WORKSの 新規事業がスタート! スタジオ 「SITE V」 徹底ガイド

動画・映像制作を主たる事業とするG-WORKSが巨大スタジオを建てた。

西日本最大級の規模を誇る撮影スタジオ「SITE V」がそれ。

油圧ショベルやクレーンまで撮影できるポテンシャルに加えて、

スタジオの要となるのが最新撮影技術「バーチャルプロダクション」だ!



「スタジオを建てる前に「吉川社長は言った。」

「向かいに駐車場あるやろ？ あそこにスタジオを建てるかもしれん」

この言葉を吉川（賢司）社長から聞いたのは2017年頃だったと思う。その時は、あまりに突拍子もない話に呆気にとられ、ただ「マジっすか？」とはっきりしない返事をしただけだった。当時ウェディングの仕事をしていた僕にとってはまさに青天の霹靂。しかし、時間が経つにつれて心に暗雲が現れはじめる。とにかく敷地が巨大なのだ。

「うちが巨大スタジオをやる……採算がとれるわけがない」

\*

2020年に始まったコロナウイルスのパンデミックによって、多くの人たちが

長く、様々なことを制限された。僕たちG-WORKSもかつてない危機にさらされた。結婚式を生業としていた僕たちにとって、コロナの影響はとてつもなく大きなものだった。式場担当者から延期や中止の連絡があるたびにため息をつく日々が続いた。あまりにも先が見えない状況に、僕たちは少なからず混乱していた。そんな折、吉川のとった選択は業務方針の変更だった。これまでスタッフの大半がメインとしていた結婚式の仕事から、企業向けのコンテンツ制作へと軸を移していくというものだった。

タグチグループの仕事を中心に、僕たちはがむしゃらに新しいジャンルでの仕事に取り組んでいった。フォークリフト

や重機の運転資格、玉掛けの資格取得と、よもや本業がカメラマンとは思えないスキルを次々と取得していった。僕も一度も経験したことのない採用業務に取り組んだ。悪いことばかりではなかったと思う。わからないことだらけの業務に困惑しながらも、成長を実感するというか、徐々にできることが増えていく感覚を久しぶりに味わうことができた。

そして、2022年。コロナの影響も少しずつ薄れ、世の中が落ち着き始めた頃、唐突に吉川からスタッフに向けて通達があった。「スタジオを建てることにした」と。冒頭でのあの言葉から約5年が経過していた。

「おそらく西日本最大級の大きさのスタ

ジオになるから、みんなも覚悟して仕事に臨んでほしい」

吉川言葉に戸惑いながらも、スタッフはみんなテンションが上がっていたように感じた。僕自身も、どんなスタジオになるかさっぱりわからなかったけど、「西日本最大級」という言葉にワクワクが止まらなかった。しかし反面、怖さもあった。今まで経験したことのないリスクを背負うことにもなるからだ。せっかくコロナも落ち着いて新しい業務環境にも慣れてきたばかりなのに。でも、「吉川さんが何の勝算も無しにこんなことしないでだろう。きっとスゴイことが起きるに違いない」。僕たちは全容が見えない大きな話に、気分が高まったり、ふと

## SITE V

### 2F 2nd STUDIO

SPEC

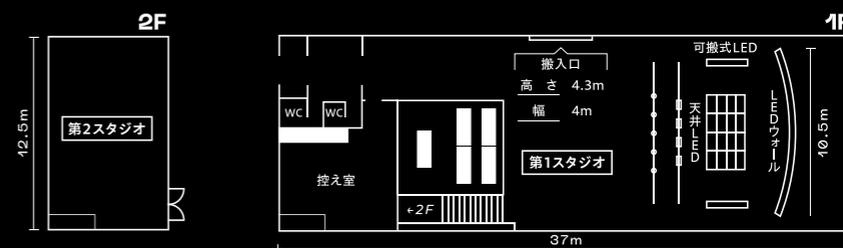
高さ 5m  
広さ 97.24㎡  
特徴 防音室・キッチン



### 1F 1st STUDIO

SPEC

高さ 9m  
広さ 367㎡  
特徴 ホイストクレーン1.4t吊り×2  
LEDウォール display ROE RB2.6F(LED画素ピッチ2.6ミリ)  
解像度 4,032×2,304ピクセル(横10.5m×高さ6m)  
天井LED display ROE CB5MKII  
解像度 832×416ピクセル(幅4.8m×奥行2.4m)  
可搬式LED display ROE CB5MKII  
解像度 416×624ピクセル(横2.4m×高さ3.6m)  
メディアサーバー DISGUISE VX4+  
メインカメラ SONY BURANO



冷静になってビビったり。期待と不安がないまぜになった不安定な時期を長く過ごすことになったのだった。

### オープンまでの怒涛の2カ月、スタッフに一体感が生まれた。

2023年6月。敷地に重機が入り、基礎工事がスタートした。「本当にここにスタジオが建つんだ」とみんなが実感した。工事が始まってからスタジオが建つまではあつという間だった。スタジオの建設が進むなか、吉川から「巨大LEDを搭載したバーチャルプロダクションスタジオとしてやっていく」ということが告げられていた。

(バーチャルプロダクション……?)

ただでさえスタジオのサイズに驚き戸惑っている僕たちは動揺を隠せなかった。しかし、吉川から細かな説明を聞き、少しずつ理解していった。それこそがこのスタジオの最大の武器なんだと。

4月にLEDの設置が始まり、実物を目の当たりにした時の高揚感は忘れられない。それからオープニングセレモニーまでの2カ月のことは、正直はつきり憶えていない。研修やコンテンツの制作などやるのがてんこ盛りで、スタッフみんなが必死で準備を進めた。まさに全力で駆け抜けたこの2カ月。

そして迎えた6月12日、オープニングセレモニー。120名近くのゲストに集まっていた。セレモニーにデモンストレーションと滞りなくイベントは終了。お客様を見送った後、残ったのはスタッフだけとなったスタジオで、円陣を組んで記念撮影をした。そのとき、僕は今まで感じた事のないスタッフの一体感を感じた。最強の設備に最高の仲間が揃うG-WORKSが運営するSITE V。きっと面白い展開が待っているはず。今後にどうかご期待ください！

(G-WORKS 石床健)

# バーチャルプロダクションを生み出す 最先端の映像テクノロジー

“西日本最大級の規模を誇る”、これ決して間違いじゃない。  
しかし、これだけでは「SITE V」がなんたるかを表しているとは言えない。  
背景のスクリーンとカメラが連動し、ヴァーチャルがリアルとの境界を超える……。  
「SITE V」では誰もがその瞬間の目撃者となるのである。



メインのスクリーンに加え、天井と左右にもLEDを使用することで、よりリアルな撮影が可能になる。車の走行シーンの撮影ではボディやフロントガラスにも背景が映り込むので、グリーンバック撮影での合成では再現できないものが撮影可能だ。

## 限り無くリアルな世界を再現する。 最新の撮影技術！インカメラVFX

フォートナイトやマイクラフトといったゲームの世界を作成するのと同じように、3DCGで作ったセットの中を自由に撮影することができるのがインカメラVFXという技術である。PC上で撮影したい場所を設定し、その背景をLEDに投影。実際にそのセットの中に被写体がいるかのように撮影することができる。セットの中であれば自由に撮影できるので、現実では到底不可能な、海の上に車が停まっているような撮影も可能。



こちらは荒野のガソリンスタンドのセット。セット中であれば、場所もアングルも自由に選べるので、荒野での撮影もガソリンスタジオの中でもシーンに応じて撮影することができる。

## 迫力のバーチャル空間を演出、 幅10.5メートルの 巨大LEDウォール

SITE Vの最大の特徴は、第1スタジオにバーチャルプロダクションの設備を完備していることだ。これはハリウッド映画や韓国ドラマ、国内のCM等でも使われ始めている最新鋭の撮影技法で、大型のLEDディスプレイを使用して、背景や環境をリアルタイムに投影して撮影する。つまり、このLEDウォールに早朝のローマの街並みを写して被写体を撮影すれば、夜の高松にいながらローマにいるかのような映像を作ることができるのだ。さらに、従来の合成技術であったグリーンバックでの撮影とは違い、撮影後の編集時間も大幅に短縮することができる。セットを組んで撮影するよりもコストダウンになる上に、セットを破壊しなくていいから環境にもやさしいのである。

## カメラの動きとLEDが連動する、 トラッキングシステム「Star Tracker」

SITE Vでは、カメラを上下左右に動かしたり、ズームしたり、スタジオ内をカメラが移動するのに合わせて、背景のLED画像が連動して変化するシステムを搭載している。その名も「Star Tracker」。カメラ側についているセンサーが、スタジオ天井に約100個貼り付けられたマーカーを捉え、カメラの位置情報を特定することでLEDパネルの中の映像と連動するシステム。インカメラVFXを機能させるために、このシステムが必要不可欠なのである。



カメラの付属品から出る赤い光を天井のマーカーが認識してカメラ位置を特定。サーバー側のシステムと連動する。小さな箱のようなこの付属品がインカメラVFXを支えているのだ。



現在は手動で回転させているが、モーターがつくことで回転速度を一定化させることができる。今後のアップデートに期待。



## 車の撮影に必須の 転車台作成に、 タグチと大松精機が コラボ！

車の撮影をするためには車を乗せる台が必要で、自由に向きを変えることができれば理想的だ。そんな要望を叶えてくれたのがタグチ工業と大松精機の技術だった。アタッチメントの旋回部分に使用されているベアリングを搭載しており、車を乗せた台を簡単に人の手で回転させることができる優れもの。

## デモに使用したアメ車、G-WORKS スタッフの私物だった！

6月のレセプションで巨大LEDパネルと同じぐら  
いお客様の注目を集めたのが、デモンストレーションに使われたエルカミーノ（シボレー）だった。質疑応答でも、「この車はどこで段取りをしたのですか？」という質問が飛び出したほど。実はこの車、G-WORKSのカメラマン・西川昭人の私物。そう答えると、会場にいたみなさんからは驚きのリアクションが返ってきたのだ。



休日にエルカミーノで香川のうどん屋にでかけることも。行列に並ぶ人からは当然注目を集めるそう。

## SITE Vができるまで

2023年

6月5日 地鎮祭



不慣れな儀式に全員が緊張しつつ、無事に建物が建ち運営がうまくいくことを祈りました。

11月27日 ログ等制作物の  
打合せ開始

12月4日 引っ越し

2024年

4月19日 LEDスクリーン  
設置開始



運ばれてくる段ボールの数があまりにも多いことに驚きを隠せませんでした。

4月29日 システム関係  
トレーニング開始



システムを使いこなすために、朝から晩まで講義を受けながらトレーニングに励みました。

6月8日 照明設備  
トレーニング開始

6月12日 オープニング  
レセプション



G-WORKSとして初の自社イベント。一致団結して取り組み、チームの絆がぐっと深まりました。

### G-WORKS 吉川賢司社長にインタビュー

# このたび人生最大の賭けに出ました。

—そもそもスタジオの話はいつどこから出てきたのですか？

「8年ほど前に田口会長と高松のスタジオを見学しに行ったことがあるんです。そのとき会長から『うちでもやってみようか』と言われたのが最初です。『あったらありがたいです』といったような返事をしたと思うんですが、あまりに現実味のない話で、イメージもしきれてませんでした」

—その後の経過を教えてください。  
「コロナが始まって、G-WORKSのメインの事業だったウエディングの仕事がごっそりなくなりました。毎年いくつかあった展示会もなくなってしまったので(企画やデザインを請け負っていた)、これからは企業案件に転換していこうと。そんなときスタジオの話がまた出てきたんです。予算的にもスケールが大きすぎる話で現実味も薄かったんですが、2021年になって<事業再構築補助金>という、コロナを機に新しい事業に転換する中小企業に補助金を出すという制度が始まりました。これで補助金がもらえることになればやってみようかということになったんです」  
— 補助金の額はいかほど？

「高松で新築の建て売り一軒分くらいです。



120名が集まったオープニングレセプション。黒のスーツにヘッドセットでプレゼンする吉川社長の姿はまさにステイブ・ジョブズ!

社労士に書類の作成をお願いすると成功報酬で10%以上とられるので、ぼくが3日間ほぼ徹夜で書類を仕上げ提出しました(笑)  
— 受かったんですか？

「はい。その時点では会長もぼくもSITE Vの最大の売りであるLEDスクリーンのことは頭になかったんです。グリーンバックの撮影ができればいいと考えてました」  
— LEDが変わったのは？

「Netflixの『1899』を見たのがきっかけです(アメリカに向かう移民船を舞台にした海洋ミステリー)。このドラマのメイキングの動画にLEDスクリーンを使ったバーチャルプロダクションの撮影の様子が紹介されていたんです。これを見た会長がすぐに『LEDについて調べてくれ』と。いきなりの話ですから、どこに話をもちかけてよいやらさっぱりわからない。ようやくROEという中国のメーカーを探し当て、日本法人にコンタクトをとって見たんですが、最初はまったく相手にしてもらえなかったですね」

— かなり高額なものと聞いています。  
「LEDスクリーンももちろん高額なんですけど、それをバックアップするシステムがさらに高額なんです。最初の見積もりは普段見たことのない桁数でしたからね。会長も『おおっ!』と笑ってました(笑)」

吉川賢司  
よしかわ・けんじ



2007年、映像制作会社「アクアビジョンズ」を設立。ウエディングムービー、プロダクションマッピングなど当時からCG素材を使ったコンテンツ制作を手掛ける。2015年、(株)タグチ工業のCMで岡山広告賞を受賞。2016年に「(株)G-WORKS」を設立し、以降、タグチ工業・エクセン(株)をはじめとしたBtoB企業への幅広いコンテンツメイキングを提供している。

— やるとなると勇気がいる額ですね。  
「去年の秋、仙台のパケットランドのイベントの後に会長とふたりになったことがあって、そのとき『ほんまにやりますか?』と聞いたんです。そうしたら会長が『あれがある未来とない未来、どっちがいい?』と聞き返したんです。ある方がいいです、と言うと、『じゃあやろう』と。それからもうゴールまでまっすぐです」  
— 展開がスピーディですね。  
「システムをやってもらった会社の人にも『普通は2~3年かけてやることを1年もかけずにやっています』と言われました」  
— 新しい事業に加えて投資の額も大きいですよね。G-WORKSはこれまで堅実に仕事をこなしてきた印象があります。  
「ぼくは石橋を叩いても渡らないタイプの人間です。父親の影響でギャンブルも嫌いなんです。無類のギャンブル好きでしたから。だからぼくの人生では、こんなのは初めてのことで、『やってしまった』という思いはありません。回収のシミュレーションをして毎日ドキドキもしています。でも、最近はあるようにしかならないと考えるようになったんですね。開き直った心境を身につけることができた、これは大きな収穫だったと思います」

— G-WORKSのスタッフに関して、この事業を機に変ったことはありますか？  
「これまでも大きな展示会とか、みんなが力を合わせてやったことは何度もあったんです。でも、ここまで各自が使命感をもって、ひとつのことに向かって力を合わせてやったことはなかった。これはすごくいい経験になりました。それだけでもSITE Vをやった本当によかったと思っています」

# 趣向を変えて! 営業所探訪

G-WORKSが建てた、トンでもないスタジオ。  
設計部がスゴ技映像施設を視察してきました!

レポーター  
開発設計部  
岡田 康弘さん

2001年3月7日入社。故郷・高松にスゴイのができたそうなので覗いてきました。



カメラトラッキングシステムに要注目!  
here!



6月12日(水)、大安。  
いらっしゃいませ~  
いらっしゃいませ~  
超満員!! (100人超)  
スタジオ建設に関わった関係者を含め、100名以上がご列席されたそうじゃよ。  
吉川社長です  
お仕事? ミニスター  
たっさんの間!  
キャットワークも完備されており、上からも撮れるよ  
左右の高輝度LEDは可動式  
天井からのLEDで被写体への映り込みをさらに自然に  
メインの高精細LEDは高さ6m×幅10.5m!  
天井には反射マーカが貼られていた。  
これでカメラの動きを把握しているワケね  
詳しくはP6  
超自然?  
今撮れている映像をリアルタイムで出力するモニター  
物体に回り込む光や影をいかに自然に表現できるか? 現実とバーチャル、完全に同期されたカメラワークで  
いかに違和感のない映像が撮れるか? が腕の見せどころナノネ。様々な技術を駆使して、リアルを追求してるんだ~。  
デジタルとアナログが融合した技術、それがVP  
VPなんやね~ 凝視っ!  
ハードもソフトもすっごいよ  
なめらかなアクリルの転写台(タクト制作)  
いままっせ  
あ、いらっしゃいっす。  
G-WORKS  
松本さん  
僕も活躍してるっすよ。  
いやめっちゃ手動!!!  
高精細LEDさん  
また来てね~  
G-WORKSの挑戦は始まったばかり...  
もう1回特集読んでみて...  
完

# 田口博章社長の うる覚えでゴメン!

第四回

『忍者戦隊カクレンジャー』  
(テレビ朝日/1994年2月~1995年2月)

出演/小川輝晃、広瀬仁美、ケイン・コスギ、遠藤憲一

東映の特撮テレビドラマで、『五星戦隊ダイレンジャー』につづきスーパー戦隊シリーズの第18作にあたる。全53話のうち、第一部にあたる前半の展開はコミカル調。アクションを豊富にしてシリアスに展開する後半の第二部では、ロボ的な存在のヒーロー「ニンジャマン」も登場し、人気に拍車がかかることとなった。

いわゆる「戦隊モノ」が好きで、小さい頃から結構見ていました。でも、この『忍者戦隊カクレンジャー』を超えるものには出会っていません。幼稚園の頃に夢中になって見ていました。再放送ももちろん見ましたし、大人になってからもYouTubeにあがっていたものを何度か見返しています。ほんとと人生で何度見ているかわからない、それくらい好きなシリーズです。なぜそんなに惹かれるかという、ストーリー展開がとにかく巧みで、もう完璧なんです。シリーズの前半は敵のキャラが結構しょぼかったりするんですが、後半ぐつと手強くなってきます。

戦隊のヒーローたちもまた力をつけて成長していく。いつも一緒に戦うわけではなく、各自が秘伝の巻物を探る旅に出てバラバラになったりして、その巻物を手にいれると戦力が格段にパワーアップするんです。ゲーム感覚ですよ。強くなったヒーローが活躍すると、これがまた胸がすくような快感なんです。忍術も子供のぼくにはぐつとくるものでしたね。突拍子もない術じゃないんです。どうかすると自分でも現実になってしまふんじゃないかと思わせるような、そんな忍術なんです。たとえば水の上を走るとか。はい、真似してました。水たまり

の上をパシャパシャとしぶきをあげて走ったりして。アクションの見せ方も、いま見ても斬新です。忍者という和風な設定でありながら、唐突に英字の擬音が出てくるんですよ、「ZBAAAAA」とか。アメコミみたいな見せ方です。忍者ものだけど、全体的にどこかモダンなんですよ。グッズ展開も充実していて、ぼくが買ってもらったのは「ドロンチェンジャー」。見た目は印籠みたいで、カクレンジャーの変身アイテムです。面に「忍」の字が入ってます。ユニフォームもカッコよく好きだったけど、さすがにこれは買ってもらってません。



## 現在も語り継がれる ふたつの洋楽番組

80年代は洋楽がビデオクリップとニコイチになった時代。そんな新しい風潮をもたらしたのがMTVの存在だ。ロックを中心としたポピュラー音楽のビデオクリップを昼夜流し続けるケーブルテレビである。だが、MTVが日本国内で開局するのは90年代になってから。じゃあそれまで洋楽ファンはどうしていたか。『ベストヒットUSA』(テレビ朝日)を見ていたのだった! アメリカのヒットチャート「ビルボード」の上位にある曲を紹介する構成で、まだ洋楽の情報を入手するのが難しかった時代にビデオクリップをまとめてみることで

『ピーター・バラカンの音楽日記』  
『月刊プレイボーイ日本版』に連載していたエッセイをまとめたのがこれ。ガイド本としては少々マニアックにすぎるかもしれないが、バラカン氏の言葉の説得力は相変わらずで、ついついCDを買いたくなる。絵本作家・沢田としきの挿絵もよし。



るというだけで洋楽ファンに熱狂的に受け入れられた。同時に新たな洋楽ファンの獲得にも大きく貢献した。そして『ベストヒットUSA』のスタートから3年後の1984年。同じくビデオクリップで構成する番組『ポップスMTV』(TBS)がスタートする。進行役はイギリス人のピーター・バラカン。『ベストヒットUSA』では小林克也の英語力に驚かされたものだが、この後発の洋楽番組ではピーター・バラカンの日本語力にまず驚かされた。台本を読んでいる感じはまったくしない。自分の言葉で話すその口調は優しくて、誠実で知的。いっぺんにお茶の間にファンを獲得し

たのだった。小林克也同様、ブルースやソウル、ロックなどアメリカの音楽に造詣が深い、イギリスのそれに関しては完全にピーター・バラカンに分があった。この人、生粋のロンドンっ子で、しかも時代は第二次ブリティッシュ・インベイジョンまっただなか(第一次はザ・ビートルズを筆頭に60年代です)。かくして80年代の日本の洋楽番組に、アメリカ色が強く骨太な『ベストヒットUSA』VSブリティッシュ系のおしゃれでスマートな『ポップスMTV』という対決構図が出来上がったのだった。というのは大袈裟に煽った話だが、実際洋楽ファンたちの間では「どっちが好き?」のような会話が合った。ちなみにこのふたりのパーソナリティは現役バリバリ。小林克也はBS朝日で『ベストヒットUSA』を現在も継続中。ピーター・バラカンは『ウィークエンド・サンシャイン』(NHK-FM)、『BARAKAN BEAT』(InterFM)などラジオの音楽番組で活躍中。前者に関しては筆者も長年のリスナーなのであった。

イラストレーション/村上めぐみ



## クリエイティブ部門の挑戦記録

# G-WORKS REPORT

最新のテクノロジーを駆使して、倉敷市下庄の解体現場を撮影する様子は前号でお伝えしました。高画質での360度3D撮影、ドローンのFPV撮影に長時間タイムラプスなどなど。今号では撮影した素材を使って映像作品を作る際のこだわりや苦労話をご紹介します。

MISSION FILE. 02 | テクノロジーを駆使した最新機材で最高の映像作品を制作せよ



MOVIE DATA  
『巨大新聞工場タグチで解体』  
(2025年6月公開/協力:安田産業)

長期に渡る解体工場の撮影が終わり、プロジェクト担当の松本大樹は2TB近くある膨大な撮影データをひとつひとつ確認していった。制作するコンテンツはVR動画とYouTube動画のふたつ。VR動画に関しては、前号で紹介した高画質360度3Dカメラで撮影した素材を使うことで、解体現場を体験してもらう際により臨場感を演出することができた。現場では多くのタグチ製品が使用されており、それぞれのアタッチメントの魅力を伝えるために、できるだけ近づいて撮影した甲斐があった。YouTube動画のコンセプトは、

「解体は終わりの物語ではなく、始まりの物語である」というもの。冒頭は元々あった建物の映像で物語の終わりを表現した。一方、ラストは建物が無くなった更地の映像を使用した。これにより、新しい建物の建設を想像させる物語の始まりを表現したわけだ。また、VR動画と同様にタグチ製のアタッチメントの活躍をカッコよく表現し、性能をアピールした。BGMのセレクトにこだわったのも言うまでもない。



動画の最後に登場する球体は高画質360度3Dカメラで撮影。VRコンテンツもこの素材から制作します。

### POINT 01 工期の短縮こそ一番の見せ場

タグチ製のアタッチメントに求められているのは、安全性と性能である。120日を予定していた今回の解体が約1カ月も短縮できたのは、その両方をアピールできる最大のポイント。映像の中で目立つように、BGMの切り替わりに合わせて編集した。



POINT 02 製品の特徴が生きるカット選び  
カッコいい映像を作るだけでなく、タグチ製品の特徴や性能がしっかりと伝わるカット選びにこだわった。様々なアタッチメントがそれぞれの役割を果たし活躍する解体シーンに注目!

### POINT 03 膨大な撮影データとの闘い

100日分の撮影データは実に膨大なもので、使用カットを探すことは非常に困難な作業だった。それでも最高の作品を作るために、一切妥協することなく、ベストカットを選んで制作した。



## PROFILE タグチ YouTube チャンネル

今回制作した動画はこちらから視聴可能です。チャンネル登録をお願いします!

G-WORKS 松本 大樹  
カッコよさの中に解体独特の哀愁が感じられるように作りました。



ここから check!

工場見学に来ていただいた学生さんからのメッセージ

常に工夫をし、毎年新製品を発売し、世界一の企業を目指している姿がカッコよかった。

皆さんが真剣に取り組まれている姿を見ることができて、いい会社だと思いました。

少ない人数で複数の機械を動かす、効率的な作業が行われていることがわかりました。

ご来社ありがとうございました



今年のテーマは「省人化」

広い会場の遠くからでも見つけてもらえるよう大きく書かれた「省人化」の文字。お客様のニーズもしっかりキャッチ!

### 屋外デモの様子を生中継

ショベルの後ろには大型LEDディスプレイ搭載のトラックが。屋外の様子が映し出されると「テレビ中継みたい!」と嬉しい声。



解体現場のVR、海外の方にも好評でした

下野さん

土橋さん



動くものには注目が集まりますね!

## 1 REPORT

### 今年のタグチは一味違う!? CSPI-EXPO 2024で屋内デモを実施

2024年5月22日(水)~24日(金)の3日間、「第6回 建設・測量生産性向上展 (CSPI-EXPO 2024)」が千葉県幕張メッセにて開催されました。今年の目玉は電気カップリングを搭載した新製品「完全油圧式ワンキヤッチ プラス」。屋内ブースでは通常ショベルを動かすことはできませんが、電動ショベルなら動かせる!とあって初の試みとして屋内デモを敢行!どの角度からもデモが見学できるように電動ショベルを中央に置き、その周りを取り囲むような形でアタッチメントを配置。新製品が実際に動く様子を間近で見られることもあってか、例年以上に盛り上がったイベントとなりました。

1年に1度営業マンが勢揃い



電気カップリングを搭載した新モデル

1系統配管で開閉&旋回できるアタッチメント (SC-EHP) も初登場。「完全油圧式ワンキヤッチ プラス」対応の新製品です。



コマツの電動ショベルが大活躍

こちらはコマツのバッテリー駆動式の電動ミニショベル「PC30E-6」。屋内作業に最適な人や環境に優しい先進モデルです。

MCの神尾さん

### 今年も営業メンバーが大集合! タグチの新製品を猛アピール



森事務

上巻副本部長

山村さん



千村副本部長

森さん

三輪さん



屋外ブースでも営業メンバーがお出迎え

### 20tクラスの迫力あるデモ&ミニクラスの体験スペース

屋外では20tクラスのデモを実施。MC小割機 with マグ・コン(本体長なんと1.6m!)のマグネット吸着は迫力満点。OC-17 EHPの着脱デモが体験できるスペースも人気でした。



竹内事務

後藤さん

土井さん

藤野さん



VPスタジオが本格始動! よろしくね

2 NEWS 感慨深い思いでテープカットに臨む吉川社長(中央)

### G-WORKS スタジオオープンレセプションも大盛況

2024年6月12日(水)、高松市のG-WORKSスタジオ「SITE V」にてオープニングレセプションを開催しました。当日はご来場の100名を超えるお客様が見守るなか、エクセン・林哲平社長、田口社長、建築事業部によるテープカットが行われました。詳細は本号の特集をチェック!



担当した建築事業部の藤原常務には表彰状が



ホタテ入り

ご来場ありがとうございました!

新たに加った北海道スタッフとイベントメンバー、営業マンで記念写真。

## 4 REPORT

### 幕張のすぐさま後に北海道! オープニングイベント開催

北海道営業所のオープンを記念して、2024年5月30日(木)・31日(金)にオープニングイベントを開催しました。当日はCSPI-EXPO 2024でも紹介した完全油圧式ワンキヤッチシリーズの着脱デモや新製品の展示を実施。他にもホタテを載せた北海道風の焼きそばや大型LEDディスプレイの上映でお客様をおもてなしました。

## 3 NEWS

### 高校生がタグチのものづくり現場を見学

2024年6月21日(金)、岡山商科大学附属高等学校 工業技術コース2年生の学生を迎え、工場見学を行いました。田口社長が各工場を案内し、タグチ製品の製造工程や会社・業界の特徴を紹介。学生の皆さんにもものづくりの現場を紹介する貴重な機会になりました。



岡山本社工場で溶接〜組立工程を見学、今保・久米工場も訪れました。

## 5 NEWS

### 新工場が続々着工! 福山&名古屋工場で地鎮祭

2024年5月21日(火)に広島県の福山工場、7月3日(水)には愛知県の名古屋工場にて、それぞれ地鎮祭が執り行われました。主にグラスパーを製造する名古屋工場ですが、今回新たにリニューアル。福山工場はタグチ最大規模ともいわれる新工場。両工場とも統報が届き次第、詳細お伝えいたします。乞うご期待!



上の写真は福山工場の仮囲いのグラフィックサイン。可愛いアタッチメントたちがご挨拶!



名古屋工場



名古屋工場 矢野慎史社長

名古屋工場 矢野裕代常務

新生名古屋もよろしくしてちょーだやあ

# タグチなんでもかわら版

タグチで働く社員の皆さんをもっと知りたい! タグ通編集部の勝手な思いから生まれた、タグ通発の社員情報ページです。社員の皆さんの近況や、ものすごく些細なプチ情報をお届けします。情報提供もお待ちしております!



ハカセの助手、研究熱心でハカセを慕っている。趣味はフィギュア作り

## 総務部のペット大好き きまぐれ社員紹介

今回は「かわいい!ペット特集」ということで、かわいいご家族と一緒に暮らしている6名のご紹介をします。犬猫だけでなく、うさぎやロボットまで?愛らしい子達が揃ってます!

- ①ペットの名前(年齢)
- ②好きな食べ物?
- ③最近ハマっていることは?

**佐藤デザイン**  
八幡 南美さん

①はち(5才)|犬(ブラックビーンズ)②さつまいもスティック・さつまいもボーロ(芋が好き)。大きくてお腹いっぱいになるから ③遠吠えの練習、パトカーのサイレン音で練習しています。カーペットの角で寝ること。

太りすぎ(8kg)だからダイエットと一緒に頑張ろうね。

**経理部**  
井上 裕里花さん

①茶太(8カ月)|うさぎ(ホーランドロップイヤー)②ドライフルーツ。甘いから ③母の座椅子に座ること。先に母が座っているとやや不満げになります。

5月に我が家に来てくれたかわいい子ちゃんです。これからよろしくね。

**製造部 第4工場**  
藤原 悠一郎さん

①テツ・マル・チビ太・大吉・ココのん|猫(ミックス)②キャットフード。ビックリするくらい人の食べ物に興味がないんです。③特になし

元気でいてくれるだけで感謝してます。これからも楽しく過ごしましょう。

**G-WORKS**  
八木 絵美子さん

①よむよむ(5カ月)|ロボット(LOVOT/らぼっと)②電気。お昼寝。抱っこ ③歌を歌う。人がいない時を狙って太極拳。

これからも、ただかわいい。を貫いてくださいな。

**製造部 名古屋工場**  
山城 アレシヤンドレさん

①なると(7歳)|犬(ビーグル)②パンが大好き。毎朝の朝食時に狙われています。③お気に入りの人形を抱いて寝ること。気づいたらいつもそれで寝ます。

いつも癒しをありがとう。長生きしてね。

**製造部 第4工場**  
廣岡 俊太さん

①ふじまる(7歳)・こなつ(7歳)・たび(10カ月)|猫(ミックス)②ふじまる→プロコリ→焼き芋。こなつ→卵・メロンパンの皮。たび→チュール。③1日中寝て過ごす。たまに追いかけて。箱に入る。

元気で長生きしてください。

教えて! **おうち時間の過ごし方** vol.05

**旅行に行くなら車中泊! 気軽に色んな名所へGO**

お外時間の過ごし方になるけど、家族での車中泊旅行にハマっています。子供の頃に経験した車中泊旅行が楽しくて、今も家族が続いています。車中泊の魅力はなんとと言っても自由なところ。「もう一泊したいな」って思ったらプラン変更してさらに楽しむことができます!自由に動けるのが車中泊の魅力ですね。

製造部 第1工場 竹下 徹さん

**タグチ活**

複数でもひとりでも。部活や推し活まで。タグチの気になる活動(=タグ活)を編集部が紹介!

製造部 大山工場 西村 健士郎さん

ロックンロール、ロカビリーが好きでバンドをやっています!山陰を中心に活動し岡山でも何度かライブをしました。気ままなバンドですがどうやら、そろそろ20周年を迎えそうです。自身のバンド以外でも全国のライブハウスやフェスに行っているそうです。

どこかの会場で会ったら乾杯しましょう!

Staff diary by Katsuraku, an employee of the Personnel Department

## 人事日誌

意外と謎に包まれている人事や採用の仕事。今回は採用活動で使われている「採用ツール」についてご紹介。人事日誌をのぞいてみましょう。

2024年 5月15日(水)

5月15日(水) 会社説明会や採用イベントでVRが大活躍。実際にタグチの製品が現場でどのように使われているのか、VRで解ります。お! 迫力あります。お! 迫力あります。お! 迫力あります。

2024年 6月4日(火)

パンフレットは採用活動に欠かせないアイテム! 会社・製品の説明に加えて、各部署で働く皆の1日のスケジュールや入社後の生活、よく読むと好きな食べ物まで書かれています。

2024年 7月23日(火)

会社説明用のパワーポイント、イベントや説明会に合わせて内容を変えています。採用活動を通して学んだタグチの知識をわかりやすく伝えるべく、写真の選定・レイアウトをしています!

タグ通は学生に人気の採用ツールです

EDITOR'S NOTE

編集部だより

気づけばなんと25号 これからも皆さまよろしくね

編集長(タグ通リーダー) 田口 詠子

スタジオ特集いかがでしたか?ものすごい撮影設備なんです。タグチのこれからの映像作品が楽しみです!

来たらおえん! 経営企画室 室長 石井 愛子

機械の展示会へ行くとき警告シールの痛々しいビクトさんをチェックし勝手にタイトル付けて楽しんでます。

「毒」ブーム CS大臣 立花 知子

我が家の最近のブームは毒! 猛毒生物特集の図鑑を購入し、日々研究。意外なものも毒があって驚きます!

まんまと……! NEW KEIKI SETO 瀬戸 陽菜

東京旅行に行きました。新店祝いハイボール99円に惹かれ、飲んだのはレモンサワー(笑)。@新橋 オモツツバ

うちの子が一番(親バカ) タグ通フクヘン 金本 禎恵

かわら版のペット特集可愛かったですねえ……。どの子も皆愛らしいけど、うちの愛犬も負けてません。

鈴木敏夫とジブリ展 WEB担当 大島 孝志

展示はやや大人向けの内容が多く、子どもは少し飽きてしまっていたので帰りにミスドへ行きました。

夏休みですね 採用担当 石床 健

我が家の子もたちは、ユニバよりも海遊館が好きらしい。安しい涼しいからありがたいです。

タグチ社員に聞く、究極の選択!

どっち? タグチ!

好きなオムライスは 薄焼き卵 VS ふわとろ

FUWATORO 71% ふわとろ

薄焼き卵 29%

USUYAKITAMAGO

「ふわとろ」が7割と多数派に! お店でもオムライスといえばふわとろをよく見かける気がします。一方の「薄焼き卵」は「母の味」や「オムライスにはケチャップ」などお家でも楽しめる味が選ばれた理由でした。子どもがケチャップで描く絵も楽しいですね。

こんな写真も

社員スナップ vol.02

まさかこの写真が表紙に!?

営業販売部 土橋 隼人さん

今回の表紙は北海道営業所の土橋さんが担当。24枚撮りの「写ルンです」は営業所内の写真でいっぱいでした。表紙の写真はBL輪厚の伊藤さん。10cmの至近距離でカメラを構え、「はい、チーズ」でタイミングを合わせて撮影したそうです。

表紙小話

「タグチ通信」設置店

【岡山】 THE COFFEE HOUSE / Brisées / Onsay Coffee 問屋町店 / cafe.the market mai mai / 倉敷自動車教習所 / 元浜倉庫焙煎所 / 451BOOKS / Cafe Onsay 奉還町店 / 珈琲と人 / カフェカンテラ / 雑貨と喫茶ネイロ堂。 / カフェZ / 中国デザイン専門学校 / CCCSCD / コロリス自

【東京】 本屋 B&B / sunny boy books 【神奈川】 喫茶と本とちょっと酒 はるや 【愛知】 港まちづくり協議会 / ONLY FREE PAPER NAGOYA 【京都】 cafe marble 仏光寺店 / マヤカ古書店 / 誠光社 / 赤赤浄土寺店 【大阪】 さぼてん堂 / ondo tosabori / Colombo corner shop / hitoto

【広島】 ALGORHYTHM / ONOMICHI SHARE / Torchon 【山口】 山口情報芸術センター (YCAM) ©いつもありがとうございます。設置店も随時募集中です!